

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		生活目標を設定し、自立支援に向けた取り組みを行っているが、利用者の心身の状態に応じて、残存能力を活用できるように働きかける必要がある。	利用者の生活意欲の向上と残存能力を引き出し、潜在的な力を伸ばすように働きかけることで、自分らしい生活を継続できることを目標とする。	・現在のアセスメントを的確に行い、どこまでできて、どこからができないのかを見極め、支援部分を明確にする。 ・1対1で取り組めること、数人で取り組めること等、その人の持つ力や可能性を発揮できるように、一人ひとりに無理のない生活目標を立てる。	12か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。